

東京五輪がもたらす経済効果などについて話し合う生徒たち＝16日、福井市成和中



五輪効果 記事で学ぶ

成和中で 公開授業 多面的な考え養う

NIE(教育に新聞を) 実践指定校の福井市成和中で16日、公開授業が行われた。2年3組の社会科学では、2020年の東



京五輪が社会にもたらす影響について資料を基に生徒が話し合い、多面的な思考力を養った。授業では、14～20年の日本の国内総生産(GDP)や1人当たりの消費額、建設投資などのグラフから、班ごとに予想される影響をまとめた。年々増加する外国人観光客の指数から、生徒は

「五輪関連の商品が売れ、景気が良くなる」「いろんな国の文化が流入し交流が深まり、東京が発展する」などと発表。デメリットとして、人口や交通量増加に伴い「事故や犯罪が増える」という意見もあった。その後、都が試算した経済波及効果に関する新聞記事が配られ、効果を深めた。(中野克規)

果が大会後10年、ころまで続き全国で32兆円規模に上ることを学んだ。佐々木綺悠さん(14)は「オリンピックが開かれることで、いろんな影響が及ぶことが分かった」と充実した表情を見せていた。

このほか、2年6組の理科では、新聞に掲載された複数の天気図から、翌日のキャンプに一番適した天気を予想。天気図翌日の実際の天気と比べ、生活に生かせる知識